

定例会見（2025年4月16日）

議事次第

○会見者 代表取締役社長 寺山 徹

○会見内容

1. 2025年度事業計画の概要
2. 新設・更新事業等の進捗状況
3. ETC専用入口の拡大_通行止めを伴う料金所のリニューアル工事を開始
4. 社会インフラサポート事業について
5. 最近の通行台数状況

○配付資料 会見資料、首都高日本橋区間地下化パンフレット、日本橋区間地下化事業現場公開案内状

1. 2025年度事業計画の概要

○ 2025事業年度は、計画的で適切な維持管理や大規模更新・修繕など安全・安心の追求、ネットワーク整備など快適・便利なサービスの提供等を着実に推進

高速道路事業:2,951億円(前年度:2,521億円)

	事業の概要	事業費	参考(前年度)
高速道路の新設、改築	・新大宮上尾道路(与野～上尾南)、新京橋連結路等の新設、改築	178億円	99億円
	・日本橋区間、東品川棧橋・鮫洲埋立部、高速大師橋の大規模更新	793億円	550億円
高速道路の維持、修繕	・首都高速道路327.2kmの維持、修繕	1,564億円	1,311億円
	・大規模修繕等	415億円	562億円

高速道路事業以外の事業:98億円(前年度:146億円)

事業区分	事業の概要	事業費	参考(前年度)
パーキングエリアの管理	八潮パーキングエリア等の管理	0.4億円	0.4億円
国、地方公共団体等からの受託事業	新大宮上尾道路の受託事業等	73億円	118億円
その他の事業	駐車場事業、首都高速2号線高架下施設事業等	24億円	28億円

2. 新設・更新事業等の進捗状況

【日本橋区間地下化事業】

- 高速八重洲線の長期通行止めを2025年4月5日より開始し、高速八重洲線トンネルの一部改築を伴う**本格的な地下化工事に着手**
- 将来の地下ルートと干渉する都心環状線の既設橋脚を事前に撤去する必要があり、交通の流れを止めずに撤去が行えるよう、事前に既設上部工を受替える**仮受橋脚工事を実施中**

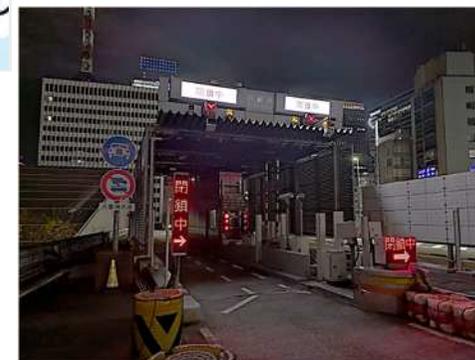
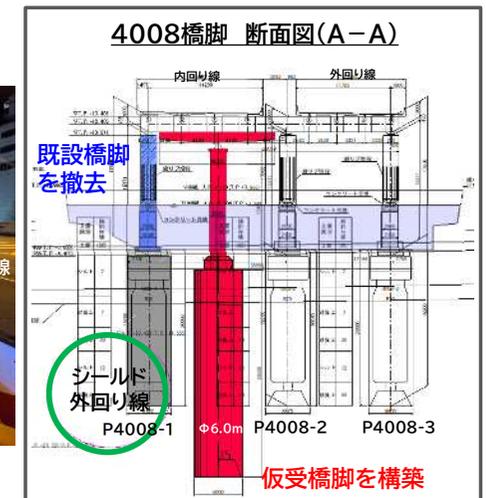
【八重洲線通行止め】



【仮受橋脚設置工事】



写真① 神田橋JCT閉鎖部



写真② 通行止め時の状況(西銀座料金所)

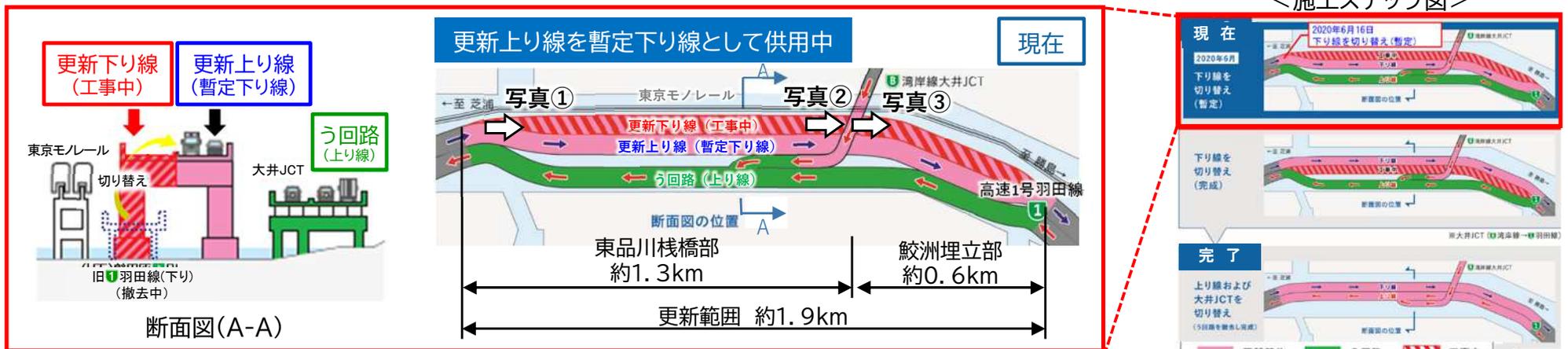


写真③ 仮受4008橋脚 浚渫工

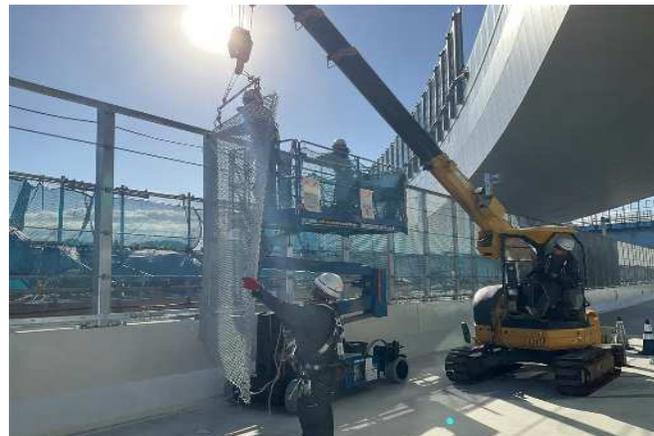
2. 新設・更新事業等の進捗状況

[東品川栈橋・鮫洲埋立部更新事業]

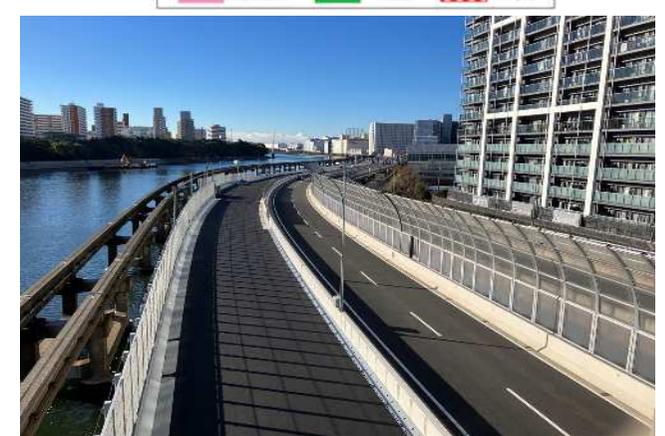
- 2025年内の更新下り線完成に向けて、完成済みの更新上り線と東京モノレールに挟まれた狭隘な空間で「**更新下り線工事**」を実施中
- 東品川栈橋部は、橋脚・橋桁の設置が完了しており、**高欄・落下物防止柵工等**を実施中
- 鮫洲埋立部は、舗装工が完了しており、**附属物工事**を実施中



写真① 東品川栈橋部の状況
(高欄工)



写真② 東品川栈橋部の状況
(落下物防止柵工)



写真③ 鮫洲埋立部の状況
(舗装工完了)

2. 新設・更新事業等の進捗状況

[新大宮上尾道路(与野～上尾南)新設事業]

- 国土交通省関東地方整備局と当社の共同で事業を進めており、**用地取得等を実施中**
- 与野JCT部では、本線高架橋の工事に先駆けた与野出入口の付替工事に2023年7月から着手
 入口部：**橋桁の設置が完了**しており、**床版工、高欄工等を実施中**
 出口部：**擁壁工を実施中**



位置図



平面図



与野出入口付替イメージ(与野JCT付近)



【写真①】橋桁の設置状況(与野入口付近)



【写真②】擁壁工(与野出口付近)

3. ETC専用入口の拡大_通行止めを伴う料金所のリニューアル工事を開始

- ETC専用入口の拡大に向けて更新時期を迎えた料金所のリニューアル工事を順次開始し、工事完了後はETC専用入口として運用を開始
- リニューアル工事は40日程度の通行止めを伴うため、お客さまへの影響が極力少なくなるように、隣接入口は同時に工事を実施しない等の対策を取りながら、計画的に実施
- 現在運用している35箇所[※]のETC専用の料金所に加えて、2025年度に新たに55箇所(累計90箇所)がETC専用化
- リニューアル工事は2025年5月25日(日)20時以降、以下に記載する5箇所[※]で開始
- 2025年度のリニューアル工事の状況を踏まえ、2028年春までに本線料金所などの一部を除き入口にある料金所のETC専用化を目指す

【2025年度工事予定】

通行止め入口(5箇所)及び通行止め期間

- ・通行止め入口:1号羽田線(上)鈴ヶ森、3号渋谷線(上)高樹町、9号深川線(下)福住、(5箇所) 湾岸線(西)臨海副都心、湾岸線(西)三溪園
- ・通行止め期間:5月25日(日)20時～7月5日(土)1時(予定)

以降の入口の通行止め開始時期

2025年6月～9月頃 (20箇所)	入谷[北上野]、天現寺、池尻、代々木、西神田、飯田橋、駒形、豊洲、王子南、扇大橋(内)(外)、中野長者橋、西池袋、足立入谷、新都心(上)(下)、浦和北、湾岸環八、永田、石川町
2025年10月～12月頃 (15箇所)	汐留、飯倉、神田橋(内)(外)、上野、勝島、板橋本町(上)(下)、堤通(上)(下)、船堀橋、鹿浜橋(上)(下)、新横浜(上)(下)
2026年1月～3月頃 (15箇所)	宝町、芝公園(内)(外)、芝浦(上)(下)、三軒茶屋、永福(上)(下)、北池袋、向島(上)(下)、小菅、千住新橋(内)(外)、殿町

以降の入口の通行止め開始・終了日時などは工事開始1か月前ごろに、当社WEBサイト(<https://www.shutoko.jp/traffic/control/largeScale/list/>)でお知らせします。

※通行止め開始・解除時刻は関係機関との協議・当日の交通状況等により変更する場合あり

※通行止め解除日時を変更する場合は、当社WEBサイト(上記参照)でお知らせ

3. ETC専用入口の拡大_通行止めを伴う料金所のリニューアル工事を開始

ETC専用入口の表示

- ・ETC専用入口としての運用開始に合わせ、ETC専用であることが分かるよう現地では右のような表示を行い、ETC無線通行でご利用いただく必要があることをお知らせ
- ・ETC専用入口では、現金、クレジットカード等はご利用になれません



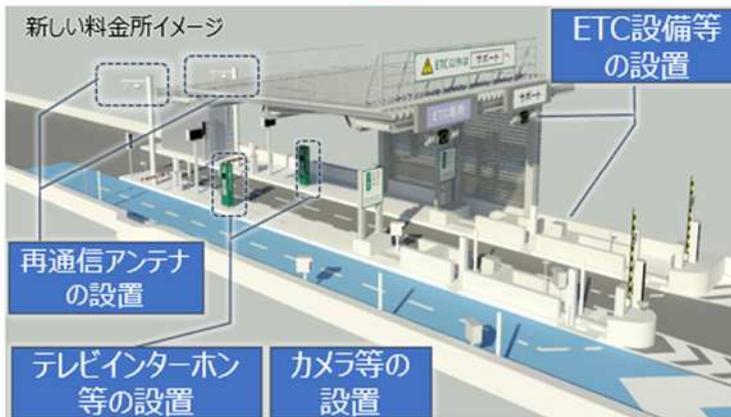
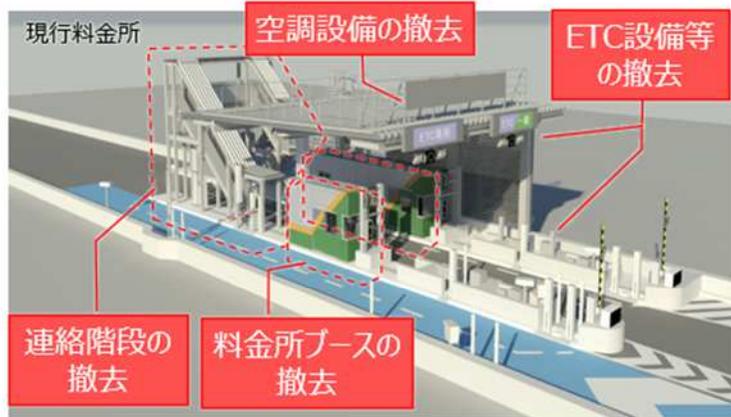
首都高ETC/ETC2.0車載器購入助成キャンペーン2025

期 間	2025年5月26日(月)から7月25日(金) ※期間中に助成台数に到達した時点で終了
助成台数	10,000台
対象地域	東京都、神奈川県、埼玉県
助成金額	最大10,000円/台
申込方法	下記ウェブサイトから事前登録のうえ、キャンペーン取扱店にて本キャンペーンのご利用の旨をお申し出ください
ウェブサイト	https://www.shutoko.jp/fee/etc-campaign/
問合せ先	首都高ETC車載器購入助成キャンペーン2025事務局 TEL: 03-5539-8100 (受付時間 9:30-17:00(土日祝日を除く))

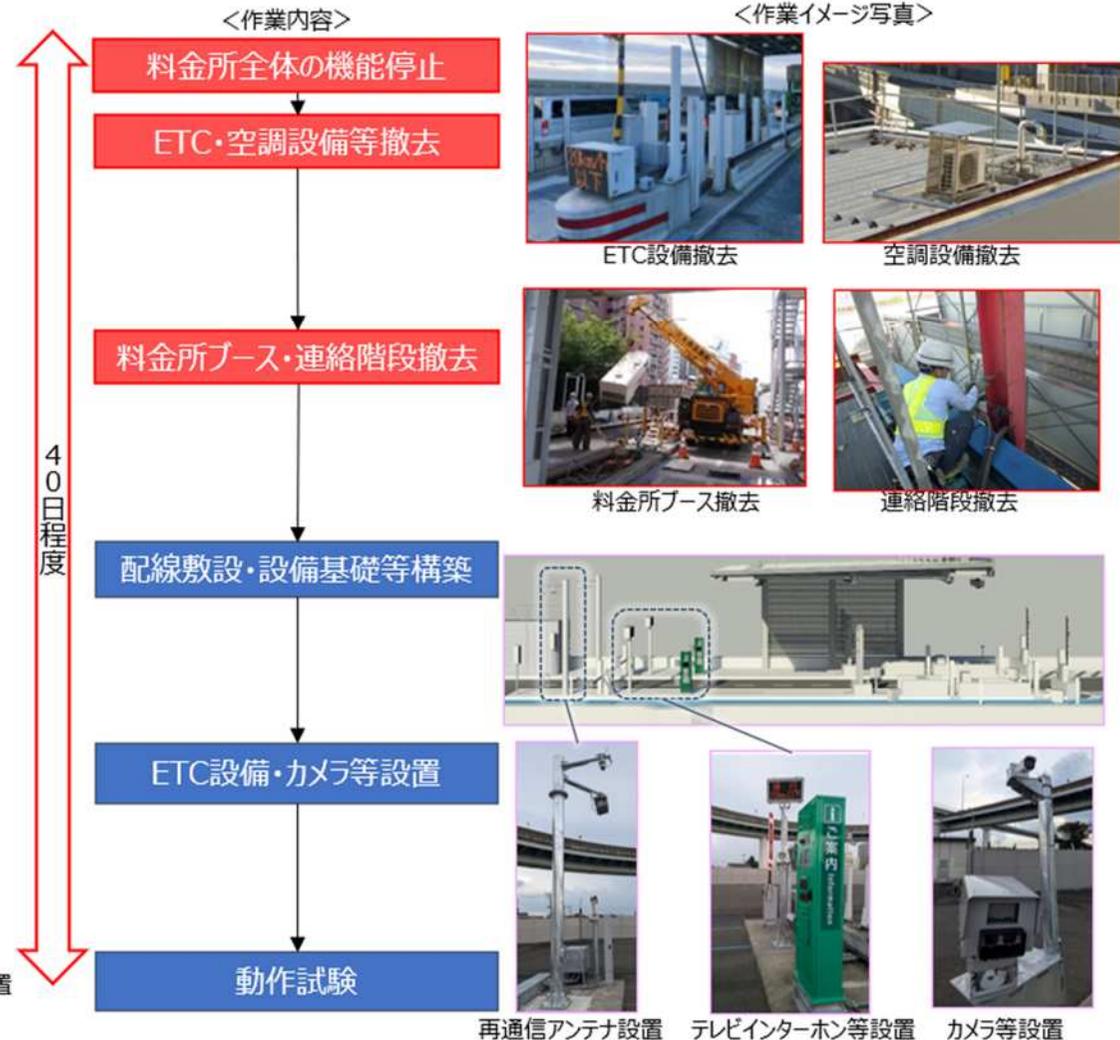
3. ETC専用入口の拡大_通行止めを伴う料金所のリニューアル工事を開始

- 入口通行止により2レーンを同時に施工し、40日程度で1つの料金所の工事を完了させる計画
- 料金所ブース及び一部の連絡階段の撤去に加えて、ETC設備のリニューアル、遠隔対応設備の整備など、多岐にわたる工事を実施

◆ 料金所工事のイメージ図



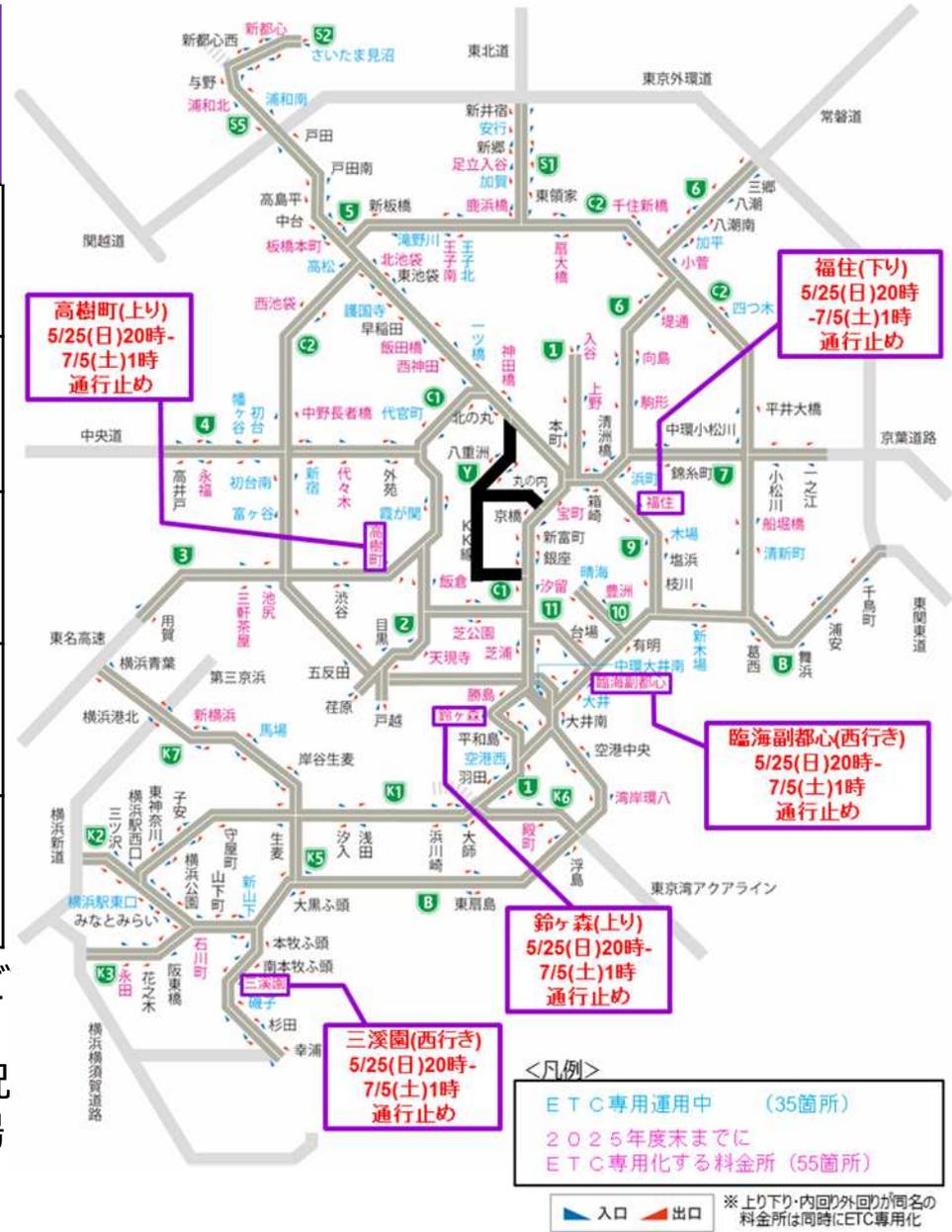
◆ 工事の流れ



※故障時のレーン切替え運用等も踏まえ、ETC専用レーンとサポートレーンは同じ設備を設置

3. ETC専用入口の拡大_通行止めを伴う料金所のリニューアル工事を開始

開始日時 ～ 終了日時	路線名	方向	入口	周辺図 (※)
5/25(日)20時 ～ 7/5(土)1時	1号羽田線	上り	鈴ヶ森	
	3号渋谷線	上り	高樹町	
	9号深川線	下り	福住	
	湾岸線	西行き	臨海副都心	
	湾岸線	西行き	三溪園	



※周辺図については、記載の二次元コードから当社Webサイトにてご確認ください。

※通行止め開始・解除時刻は関係機関との協議、当日の交通状況等により変更する場合があります。通行止め解除日時を変更する場合は、当社WEBサイト

(<https://www.shutoko.jp/traffic/control/largeScale/list/>) でお知らせします。

4. 社会インフラサポート事業について

[基本方針]

○首都高グループが培ってきた技術・経験・ノウハウを活かし、道路分野をはじめとして、空港、鉄道、港湾などのインフラ事業者、ひいては様々な分野の事業者が抱える課題に寄り添い、より良い社会基盤の実現をサポート・共創する ⇒ **3NEW(新分野・新顧客・新地域)**への事業展開

[首都高グループ開発商品展開への挑戦]

○首都高グループでは、これまで首都高速道路の維持管理のためにさまざまな製品・技術を開発
 ○それらを商品として国内及び海外のインフラ事業者を紹介・販売
 例) 大規模地震に備えて開発した超軽量の段差修正材を「**首都高防災セット**」として販売に着手

EPSフラットブロックとEPSスロープ

高さのある段差にも対応。安定性と作業性を担保したブロックと分割して運べて組み立て可能なEPSとFRPを一体化した進化型スロープ

軽量土のう&ゴムマット

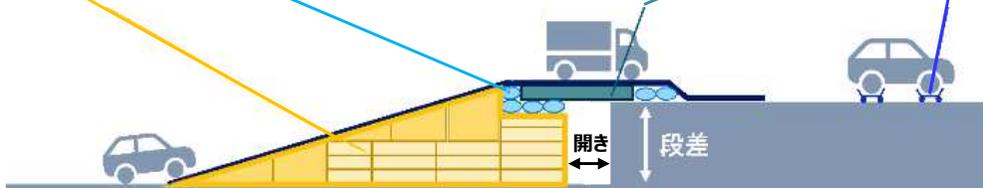
土のうの常識を変える 1袋わずか5kgの土のうで軽くても機能は充実。ゴムマットとセットで活用

ゴージャッキ

足踏みペダルによる車両ジャッキアップ機能と移動機能を兼ね備えた車体移動ユニット

F-DECK

FRP形材と平板とを接合した構造で強度を担保した軽量渡し板



「首都高防災セット」(段差修正材とゴージャッキ)



段差修正材による訓練



震災対策技術展にて「首都高防災セット」紹介

「首都高防災セット」の紹介チラシ

4. 社会インフラサポート事業について

[国内における取り組み]

○北海道7空港へのインフラパトロール^(※)導入に係る基本協定締結

- ・北海道エアポート(株)と維持管理に係る相互協力に関する基本協定を締結し(2025年3月)、それに基づき、インフラパトロールを**空港分野へ初めて導入**(2025年4月)
- ・今後は、「都市高速道路の維持管理」「積雪寒冷地域における空港の運航管理」など、各々が保有する技術・知見を活かし、**維持管理の効率化・高度化**を目指す

※ インフラパトロール:車載カメラ等によるリアルタイムストリーム映像の配信や保存した映像を活用することにより業務を高度化、効率化するシステム



インフラパトロール紹介サイト

○ 用地補償コンサルティング事業の推進・拡充(鉄道事業者等)

- ・横浜高速鉄道株からみなとみらい21線車両留置場整備事業に係る用地関係業務を新規受注・本格的業務着手(2024年11月)
- ・今後も当社の用地取得実績・ノウハウを活かし、地方公共団体及び鉄道事業者等の用地関係業務を推進・支援する



北海道7空港へのインフラパトロール導入
(左:インフラパトロール搭載車 右:リアルタイム映像の配信)

みなとみらい21線車両留置場整備事業
(用地補償コンサルティング事業の一環)

4. 社会インフラサポート事業について

[海外における取り組み]

○海外へ向けての首都高グループのプレゼンス向上

- ・首都高グループの連携を強化し、新しい企業価値の創出やプレゼンス向上、タイ国のインフラの発展への貢献を目指し、タイ国バンコクで「首都高社会インフラサポート事業展開セミナー」を開催(2024年10月)
- ・フィリピン国の道路トンネルワークショップ(国交省、DPWH共催)で論文発表、ブース展示(2024年12月)

○タイ国における事業展開

- ・昨年6月に設立した首都高インターナショナル・タイランド(株)は、現地政府機関の研修など各種支援業務を受注しており、引き続き、技術コンサルティング業務を受注すべく、タイ企業や在タイ日系企業等への営業を実施

○ MOU締結機関との協力内容の拡充

- ・これまでにMOUを締結しているタイ・フィリピン・インドネシア等の道路機関との意見交換を拡充
- ・インドネシア国Astra社(※)について、道路休憩施設や安全管理での技術協力と新たなビジネスを目的として、首都高管理施設等の現場視察と意見交換を実施(2024年11月)

※ PT Astra Tol Nusantara

○その他の国際貢献

- ・ミャンマーで発生した地震に伴うタイにおける地震被害に対して専門家チームを派遣(2025年4月)



タイ国
首都高社会インフラサポート事業展開セミナー



フィリピン国
国交省・比国公共事業道路省共催ワークショップ



インドネシア国
MOU締結機関との意見交換



タイ国
地震被害に対する専門家派遣

4. 社会インフラサポート事業について

[海外における取り組み]

○2025年3月28日にミャンマーで発生した地震に対し、タイ国運輸省からの要望があった国土交通省からの要請に応じ、タイへ専門家を派遣(4月3日～6日)



在タイ日本大使館での意見交換



地震発生後の対応等に関する意見交換



道路工事現場の視察状況

○ミャンマーで発生した地震の関係で、協力の第二弾として、我が国における地震発生後の道路橋の点検等について、首都高の経験、やり方を紹介するため、国土交通省とタイ国政府関係者が意見交換を行う技術協力ワークショップに専門家を派遣(4月8日～11日)



技術協力ワークショップの開催



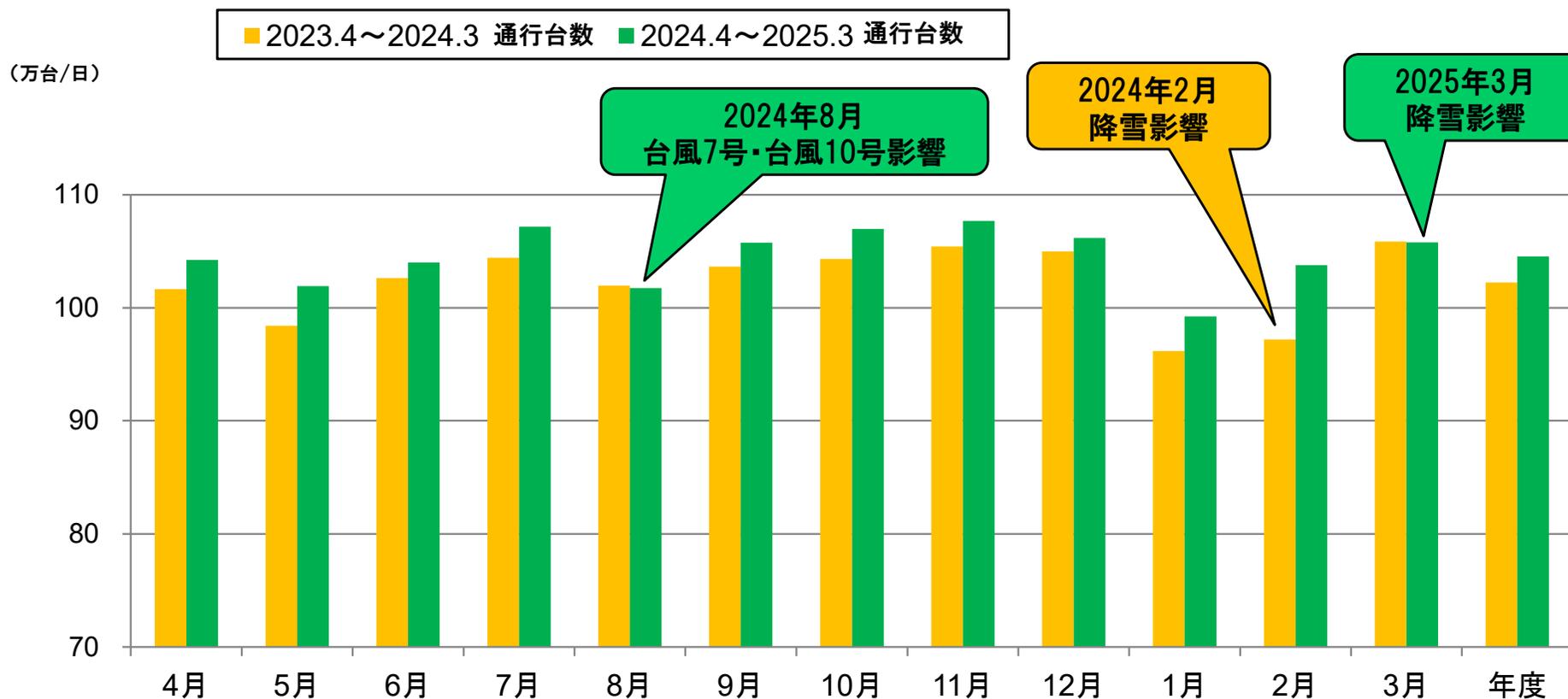
技術協力ワークショップでの意見交換①



技術協力ワークショップでの意見交換②

5. 最近の通行台数状況

- 景気の緩やかな回復に伴い、通行台数は引き続き順調に推移
- 降雪に伴う予防的通行止めの影響等により、今年度の3月の通行台数は前年と同等
- 年度での比較では、対前年比 + 2.3%



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度
通行台数 (万台/日)	104.2	101.9	104.0	107.2	101.8	105.8	107.0	107.7	106.2	99.2	103.8	105.8	104.5
前年比	2.6%	3.6%	1.4%	2.6%	-0.2%	2.1%	2.6%	2.2%	1.1%	3.2%	6.8%	-0.1%	2.3%

※2025年3月
は速報値